

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 11 月 25 日・27 日
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	25 日 大和田・吉田・西山・麻生・海元・北島・日向 27 日 大和田・吉田・末沢・戸上・戸野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	3 人	7 人	1 人	12 人

前回の改善計画
<p>スタッフ個々が感じる多機能での生活の効果が見えにくいために、利用者の家族との関係を築く機会を検討、家族懇談会などの機会を設けていくための準備・調整を行いながら、次年度につなげていこうと考えている。コメントの中で、その場での協議に頼ることが多く、情報発信の方法が課題との指摘も見られ、早期に対応できる案件であることから、記録の方法を整備し、スタッフ誰もが見えるように日常の観察記録の中で会議録を掲示することにした。</p>
<p>前回の改善計画に対する取組み結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常に行われているミニカンファレンスや申し送りなどの記録が思うように残せていない状況である。また、参加者や協議内容などの記入が無く、結果のみが公表されている状況でそこに至った経緯などが不明な状態が見られる。 ・ 家族の来所の機会は実施できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	7	3	1	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	7	3		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	4	1	2	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	3	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>登録者個々に置かれている状況や必要な介護方法などはミニカンファレンスなどを通して共有化は図れている。送迎の際などに出来る限りご家族と当日の出来事やお困りごとなどは無かったかどうかを確認するようにし、柔軟に対応できるような状況を作ることが出来た。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・ すべての職員が利用者の家族との関係が築けていない状態は改善できていない。送迎の担当を行うもの以外に関係を築く機会を作ることが出来なかった。情報の共有がどの程度行われているか不安に感じることもあるとの意見がも見られ、さらなる改善が必要と思われる。 ・ 様々な話し合いが行われてはいるもののサービス内容やサービス手順のみの理解に留まってしまっている。協議結果のみが伝わりその必要性が十分な理解がなされないままになってしまっている。ノートを活用し介護方法などへの疑問を必要に応じ疑問を解決するような仕組みを取り入れてみたが実際には活用には至らなかった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>1 日常の介護に関する疑問を解消し、登録者への関わりについて共通認識を得ることが出来るようにカンファレンスなどの機会を改めて整備していく。</p> <p>2 記録の残し方について①目的②協議内容③参加者④具体的な対応という一連の流れで記録が残っておらず、①研修の実施。②実際のミニカンファレンスの記録を確認し、記録されている内容について適時、指摘・修正を加えながら実務研修を行っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 25 日・27 日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 25 日 大和田・吉田・西山・麻生・海元・北島・日向
27 日 大和田・吉田・末沢・戸上・戸野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	5人	人	11人

前回の改善計画
◆こまめなミニカンファレンスは行われているが、生活全体を評価するような仕組みの構築が必要と思われる、ケア計画と現場での協議の定例化を具体的な動きとして整備する。 ◆利用者個々の共通理解を図るために、情報発信を日々短時間でも業務中にミーティングを実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
こまめなミニカンファレンスを当日出勤者で開きながら適時対応策を協議している。その記録が十分に残せていないことが見られ今後の課題として取り組んでいく必要がある。ケア計画と現場での協議の定例化に関してはミニカンファレンスが中心になり定例化は実現できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	8	3		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	3		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		8	2	1	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	7	3	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・昨年同様に利用者の『～したい』を引き出す工夫を心がけており、何に興味や関心があるのか家族からの情報やレクリエーション等の関わりの中で個々のご希望に添えるように努力している。 ・心地よく過ごして頂けるよう和やかな雰囲気作りに心がけ、見学者などからは「雰囲気が良い」というような評価を耳にすることが多く見られた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	ケアプラン作成が追いつかず、個々に策定が必要な介護計画が共有資源として活用できていない現状がある。そのため、毎月行っていたモニタリングが毎月行うことが出来なかった。 報・連・相の仕組みが個別に行われることが多く、全体の目標が定まりにくい感じがある。 ・個々の利用者の目標の設定の共有が不十分になり、活動への不安感を持つ職員も多くみられることから、定期的にケアを振り返る機会を作ることが必要と感じている。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	◆こまめなミニカンファレンスは行われているが、生活全体を評価するような仕組みの構築が必要と思われる、ケア計画と現場での協議の定例化の実現を早急に行っていく必要がある。 ◆日常的に活用しているサイボーズの記録を生かし、登録者に対する会議録の作成を記録内に残していきながら情報の共有化をかかっていくことが出来るよう対応していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 25 日・27 日

3. 日常生活の支援

メンバー 25 日 大和田・吉田・西山・麻生・海元・北島・日向
27 日 大和田・吉田・末沢・戸上・戸野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	4人	人	10人

前回の改善計画
◆『以前の暮らし方』を理解していく為にも、担当職員が中心となって、こだわりや生活習慣を文章化していく作業（再アセスメント）を計画作成担当者と共に定期的実施する。
◆積極的にミーティングやカンファレンスを実施し、各職員が利用者の望みを『言語化していく』という専門性を身につける。

前回の改善計画に対する取組み結果
レクリエーション・訪問活動の増加に伴い日常生活の生活の様子は目の当たりにすることが多くなっており、個々のこだわりや生活の様子を元にした取り組みは継続して行えている。その中で、ゴールが見えないことでの戸惑いや刻々と変化する登録者の身体的な変化に混乱する姿も見えるようになってきているものの全体で行うカンファレンスなどが行えず、いま、その時の様子が共有できない状態が続いている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	9	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	7	1		11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		9	3		10 (未記入1)
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	5	1		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	7	4		11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
一人一人の状態に合わせた介護は実施できており、認知症への対応、個々の体調管理、個別の基本的ケア細やかな配慮は行えている。気になることやきずいたことがあれば必要に応じミニカンファレンスを実施し、リーダーに集約した情報は口頭やコンピュータを活用した経過記録を活用し、伝達と経過観察が行えるように柔軟な対応が行われている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
全体で行うカンファレンスが行えない状況から情報がうまく共有できないことへの戸惑いや不満が解消できないでいる。本人のニーズと家族の抱えるニーズとは異なることが多く、援助の方針に戸惑うことも多く、援助方針を明確化するための会議が定例化される必要があると感じているスタッフが多く存在する。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
◆『以前の暮らし方』を理解していく為、家族との交流の機会を計画的に実施していくための仕組みづくりを計画的に行いながら、登録者の日常生活の支援を計画的に実施していく。
◆各職員が利用者の望みを具体的にあげ、取り組み課題を文書化しながら、「見えるか」を勧め、個々の取り組み課題を明確にしていくための仕組みづくりを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 25 日・27 日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 25 日 大和田・吉田・西山・麻生・海元・北島・日向
27 日 大和田・吉田・末沢・戸上・戸野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	3 人	4 人	人	9 人

前回の改善計画	◆地域資源に対する職員への研修を実施する。 ◆個人を中心とした資源を盛り込んだサービス計画の作成を意識し、その認識を高めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の資源に対しては口頭で伝えてきたものの事が明らかになった。施設内のダイルームで行う「ふれあい喫茶」「健康体操」の活用に関しても地域資源の活用としては十分な理解が進まなかった。職員数の確保が出来ていない状況もあるが地域とのかかわりについては再確認が必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	8	2		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	8	1		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		8	2		10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	8	2		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 施設利用前から利用している理髪店を継続して使っていたり、馴染の店舗や病院などを極力活用し、地域資源との交流の機会を掴むよう心掛けている。家族との交流も送迎の機会を活用して十分ではないが話を聞くように心がけており、宮丘カフェなどの活動により地域に住む意味の方々との交流は増えてきている。
---------------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 希望があっても通い参加者に手を取られることで前に進んでいけない現実がある。個々に意見からは計画作成担当者が行っているという認識が強く存在し、職員の中には通常の仕事外というような認識も生まれている状況が確認できた。
----------------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ◆個人を中心とした資源を盛り込んだサービス計画の作成を意識し、その認識を高めていく。 ◆個々の今迄活用していた社会資源を具体的にマップに落としながら地域資源との関わりを見えるかして情報提供を行うよう対応する。
----------------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 25 日・27 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 25 日 大和田・吉田・西山・麻生・海元・北島・日向
27 日 大和田・吉田・末沢・戸上・戸野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画
◆計画作成担当者は、事業所の支援（通い、訪問、宿泊）や家族の支援だけでなく、積極的に『その他の支援』を組み入れた計画書を作成する。
◆人的資源の充実を図っていく

前回の改善計画に対する取組み結果
サービス計画内へのその他支援を組み入れた計画は遂行し、病院との積極的な連携並びに食事購入や会主の依頼などへの対応は訪問の増加とともに増えている。緊急時の受け入れに関しては、夜間の対応に関する取り組みは整備し、必要に応じた対応を行えるよう体制づくりを行っている。宅直の制度はあるが実際には出勤が必要な状況はほとんど見受けず、翌朝の対応で対処できている状態。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	6	4		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	7	2		11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	8	1		12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	9	1		12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個々の体調の変化には気を配り、適時、体調不良や家族の介護軽減で、通い、訪問、宿泊を調整し、サービス提供を行っている。介護記録などを確認しながら、職員同士の意見交換を行い、介助や支援の方法を職員同士で話し合い改善するよう対応できている。柔軟にサービスを活用し、地域との交流の中での生活支援をおこなうことが出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
通い、訪問、宿泊は柔軟に対応できていると思うが本人ニーズではなく家族ニーズに対応したものではないかと理由から柔軟性があるとはいいがたいとの意見が見られた。人的環境が不十分なことでなかなか本人ニーズにこたえられない現実があるとの意見も見られている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
◆計画作成担当者は、事業所の支援（通い、訪問、宿泊）や家族の支援だけでなく、積極的に『その他の支援』を組み入れた計画書を作成、地域資源の活用状態をマップに落とし情報提供を行いながら資源の活用に関しての理解を深めていく。
◆人的資源の充実を図っていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 25 日・27 日

6. 連携・協働

メンバー
25 日 大和田・吉田・西山・麻生・海元・北島・日向
27 日 大和田・吉田・末沢・戸上・戸野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	1 人	人	9 人

前回の改善計画
<p>◆行事や外部への活動に関して、人的環境を整えながら、介護担当者の地域の催しに積極的な参加を促進し、地域資源についての理解を強化していく。</p> <p>◆個々の利用者の主治医等との連携を図っていくために、現場からの意見を集約し、積極的に「関わり」を持っていうことが出来るよう「利用者個々の観察の視点」を明確にし、受診時の付き添いや文書作成などを行い、日ごろからの関係作りを深めていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>利用者を主体として「今、できること」に着目し、現場職員が柔軟に活動できるように関わりを持ってきた。一人一人が目の前の利用者に対して行う支援の充実が図ることが出来るよう体制の整備を行っている。様々な視点から一人の利用者を見る事が出来るよう、日常介護を行っている状況で気になることなどを整理し、コメントを頂く等の対応や身体状況を伝える中で通院の支援なども行いながら医療や健康に対する対応を継続して行っている。地域資源の理解については十分な対応が行えていない。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	5	1	2	1 1
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	5	1	2	1 1
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	6	2		1 1
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	5	4	1	1 2

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>事業所としてはみやおか音楽会の定期開催、新たに宮丘カフェの定期開催・健康体操の会場等を通して地域の方々との交流場面は増加している。子育て支援への協力や地域の活動にも参加し、今後も継続して対応していきたいと考えている。地域の方々、地域資源の相互に情報提供できるような場面作りをさらに充実させる中で地域活動への様々な角度からの貢献を図ることが出来るよう業務調整を行っていく。</p>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>外部への活動は管理者・計画作成担当者が中心となっている為、現場職員を巻き込んだ取り組みが昨年同様に定着してしまっている状況がある。そのため、地域資源との関わりや日常的な関わりについての認識が薄くなってしまっている。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>昨年の課題を継続し、</p> <p>◆行事や外部への活動に関して、介護担当者の地域の催しに積極的な参加を促進し、地域資源についての理解を強化していく。</p> <p>◆個々の利用者の主治医等との連携を図っていくために、現場からの意見を集約し、積極的に「関わり」を持っていうことが出来るよう「利用者個々の観察の視点」を明確にし、受診時の付き添いや文書作成などを行い、日ごろからの関係作りを深めていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 25 日・27 日

7. 運営

メンバー
25 日 大和田・吉田・西山・麻生・海元・北島・日向
27 日 大和田・吉田・末沢・戸上・戸野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	4 人	人	8 人

前回の改善計画
<p>◆個別ケースのカンファレンスも含め、現場会議の固定化を図っていきながら、個別ケースの方針が見えるようにし、安定した介護実践が行えるような環境整備をはかっていく。</p> <p>◆介護者等との交流をできるような取り組み(懇談会など)を定着させ、家族の思いにも着目した介護実践を行っていく。</p>
<p>前回の改善計画に対する取組み結果</p> <p>ミニカンファレンスが主になってしまい、記録が不十分な状態がある。現場会議を持つ事が業務内には確保できず前年度の課題については懇談会の実施も行えないままである。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	6	1	2	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	3		10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	2		10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	5	4		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>日常的なこまめな会議は行えている。ネットワークを活用した情報提供は行えているものの個々の力量差が明確になり、十分な対応の共有化が図れているとはいいいがたい状況になっている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>会議の固定化は行えておらず、懇談会の実現も行えないことからスタッフの戸惑いや対応への不安の解消を図ることが出来なかった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>前年度同様に</p> <p>◆現場会議の固定化を図っていきながら、個別ケースの方針が見えるようにし、安定した介護実践が行える環境整備をはかっていく。</p> <p>◆介護者等との交流をできるような取り組み(懇談会など)を定着させ、家族の思いにも着目した介護実践を行っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 25 日・27 日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 25 日 大和田・吉田・西山・麻生・海元・北島・日向
27 日 大和田・吉田・末沢・戸上・戸野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	4 人	人	10 人

前回の改善計画	
◆個々の職員が自らのスキルアップの為に、意欲を持って外部研修に参加できる様な体制づくり(人員配置の見直し)を進める。 ◆後輩や新人職員を指導する機会を持つ事で自身の仕事を見直す機会を作る為にも、法人間で定期的な人事交流を進める。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
外部研修の機会は提供しているが、事業所からの指示で研修受講に至る職員が大半で自らのスキルアップ向上等の為に研修の受講希望はほとんど見られない。事業所間交流の機会をもち他の多機能サービスで 1 日体験見学をさせていただき自らの作業の振り返りを行った。法人内虐待研修の実施、並びに多機能連絡会研修会への参加は継続的に行い、必要に応じて回覧などで周知を図っている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	7	2		研修記録
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	7	1	1	研修記録
③	地域連絡会に参加していますか	4	4	2	2	会議録 出張簿
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	7	2		会議録 ヒヤリ・ハット報告

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職場内研修については適宜実施している。委員会活動や会議を通じて、リスクマネジメントに関する意識は保っているが、イメージし過剰な介護を行ってしまっている状況も垣間見える。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所からの指示で研修受講に至る職員が大半で自らのスキルアップ向上等の為に研修の受講希望はほとんど見られない。参加をしたい研修等はあっても時間がとりにくく、他の職員に迷惑をかけてしまうとのこえもみられている。	

次回までの具体的な改善計画	
◆個々の職員が自らのスキルアップの為に、意欲を持って外部研修に参加できる様な体制づくり(人員配置の見直し)を進める。 ◆後輩や新人職員を指導する機会を持つ事で自身の仕事を見直す機会を作る為にも、法人間で定期的な人事交流を進める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 25 日・27 日

9. 人権・プライバシー

メンバー 25 日 大和田・吉田・西山・麻生・海元・北島・日向
27 日 大和田・吉田・末沢・戸上・戸野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	2 人	人	10 人

前回の改善計画
気になる言動や連絡帳のコメントなどで気になることが出てきた場合には、自分が出来ない時には「上司に相談」を徹底し、必要に応じ、研修や会議などを行い、現状の改善を図っていく。その為には、スタッフ間の連携を図りながら、「報告、連絡、相談」が適切に行われるように配慮し、具体的に何が問題であったか協議できるように会議の定例化を図り、毎月の点検作業を継続して行うよう整備する。
前回の改善計画に対する取組み結果
全体的には職員の声のかけ方に違和感を感じた場合に直接指摘することを恐れ、声をかけにくい状況が見られる。気になる言動や書き言葉には管理者やケアマネ、副主任などで協議し、直接指導するなどの対応を行っている。また、ミニカンファレンスを通して個別に発生する様々なリスクに対しての話し合いを積極的に持ち、安心してサービス利用が出来るよう配慮している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	6	1		12
②	虐待は行われていない	5	6	1		12
③	プライバシーが守られている	3	8	1		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	2	2	7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	7	1		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
副主任を中心に「関わり」「介護」の方法などについては積極的なディスカッションが日常的に行われている。今年度は採用者の定着が思うように進まない状況もあったが根気よく指導し、必要に応じて、面談なども行いながら対応することができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
安全を優先してしまう為必要以上の声掛けや介護の過剰支援が見られた。スタッフ間では違和感を感じながらも相互に注意し合うことが出来ないような状態も垣間見ることが出来た。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
自分が出来ない時には「上司に相談」を徹底し、必要に応じ、研修や会議などを行い、現状の改善を図っていく。その為には、スタッフ間の連携を図りながら、「報告、連絡、相談」が適切に行われるように配慮し、具体的に何が問題であったか協議できるように会議の定例化を図り、毎月の点検作業を継続して行うよう整備する。	

地域からの評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で自己評価に取り組んでいますか？	6		
2	事業所振り返りシートを作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていなかったか？	6		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	4	1	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4		2

<p>【上記4つのチェック項目に関する意見】 ※結果ではなく、自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見 自己評価に対しては前向きな取組は確認できた。</p>
<p>【前回の改善計画に対して意見】 ※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見 事業所からの報告事項としてコミュニケーション不足で計画の周知、情報収集がうまく機能しなかったことが確認でき、それに伴いスタッフが個々に取るべき行動が不明確になってしまい、不平不満になって表出した事案も見られたと事業所からの報告を行っています。全体会議が行えなかった事実に関しては残念な所はあったが、時間がとりにくい状況の中でスタッフ交流の場面は作っている様子は確認できた。会議録の残し方は一工夫必要に思うとの意見が見られました。</p>
<p>【今回の改善計画に対する意見】 ※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見 委員からの意見は特にありませんでした。</p>
<p>【今回の「自己評価」をテーマにした自由意見】 地域での活動にも参加して頂き、地域の掃除や年末の防犯の活動にも参加して頂き、今後も地域の中でいろんな関わりが増えていくといい。</p>
<p>【改善計画】※後日記入 実践事項として①「結果だけを示すのではなく、目標を明確にし、継続した活動が生む効果をしっかり確認しながら情報共有する」事とし、具体的な数値に置き換えながら計画を遂行できるよう、できたこと・出来なかったこと・なぜできなかったか・数値を達成したことによって何が変わり、どのような課題が出てきたかをわかりやすく表現できるよう改善を行い、職場の環境改善を図っていきます。</p>

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 、「～したい」の実現（自己実現の尊重）	5		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4		2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

現場内の見学の際にスタッフのあいさつの声が小さく、こちらからの質問にははきはきと答える場面があった。初めて来たときには少し話しづらい感じを受けてしまうかもと心配して頂くような意見がありました。

【前回の改善計画】

特に意見はありませんでした

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

光も良く入り明るい雰囲気である。居心地はよさそうな印象があったとの意見も見られました。

【今回の改善計画】※後日記入

意識して気持ち良い挨拶を行い、様々な方々との有意義な交流を持ちながら地域で親しまれる多機能サービス作りを図ってまいります。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	2	1
1	職員はあいさつできていますか？	4		2
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3		3
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2		4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

B【しつらえ・環境】の意見の中にあいさつで感じた意見がありました。早々に職員には報告を行っています。多機能のメリットについてのイメージが付きにくいのではとの意見がありました。

【前回の改善計画】

地域のイベントには出来る限り参加の案内をだしていましたがなかなか時間もとりにくく大変なかで色々ご参加いただきました。しかしながら、スタッフのイベント参加は居会のみになってしまい地域との関わりは強化していくまでには至っていません。

宮丘だよりの交付が定期的に行えない状況で広報がうまくできていないこともあり、不定期でも発刊できるよう調整していきたいと思っている旨を伝えている。

【事業所と地域のお付き合い」をテーマにした自由意見】

「宮丘カフェ」「健康体操」が開催されるようになり、又自治会の会議などでも活用させていただく機会が増えました。地域の中で入りづらいところであったような印象から地域の方々も集っていただける機会を作ったことから施設の運営事業を話す機会も増えたように思っています。また、地域の行事などに参加しながら情報提供・情報交換をしていく動きを定着させていく動きも考えてほしいとの意見や自治会に入っていることに対する評価を頂きました。

【改善計画】※後日記入

「宮丘だよりの」交付を年4回以上は行い、地域との繋がりを意識した紙面づくりを再構築していきたいと思えます。事業所のサービスの柔軟性を生かし、地域のイベントなどに利用者と共に参加、地域で共に支え合える環境作りを目指していきます。

D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	1	
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	6		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1		5

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】 特にはありませんでした。</p>
<p>【前回の改善計画】 訪問サービスを増やしながら地域の資源活用を行う登録者は増えています。買い物等が困難な登録者と買い物に行ったり、活用していた散髪屋に不定期ですが通ったりする機会も作っています。スタッフに対する「地域で暮らす」を実現していくための研修を行う予定を立てていましたが、その機会を作り、活性化させていく事に対しては十分な成果は残せていない状況です。</p>
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしをささえているか」をテーマにした自由意見】 ご近所で住んでおられるご利用者様の日常生活と家族の様子などをお話いただき、「喜んでおられた」というコメントをお聞きしました。 血良い向けの見学会などの開催もあればいいのではとの提案を頂いています。 通い参加所等がどのような食事をされているのかに興味があるとの意見があり、その場面作りを検討したいと思います。</p>
<p>【改善計画】※後日記入 ・相談・問い合わせがあった場合には、「顔を合わせる」を基本とし、関わりを持っていきます。 ・見学やボランティア活動も柔軟に受け入れながら、地域活動を進めていきます。 ・住民様向けにサテライト宮丘の機能を伝えるための活動を進めていきます。 ・サテライト宮丘での食事を体験して頂ける機会を作ります。</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4	1	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4		2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

意見交流やイベントの紹介なども積極的に行っていた。
活動の様子も確認良く分かり、大変だと思うとの意見があった。

【前回の改善計画】

地域のボランティアグループによる「宮丘カフェ」の開催、「健康体操」の開催、自治会活動に対する会場提供などを行いながら地域の方々が集う空間づくりは進んでいる。
AEDの体験学習会に参加し、地域の方々と一緒にAEDの使用方法について研修を受けました。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

運営推進会議においては地域の高齢者の生活ニーズにも着目した動きが必要であると思われるがどこまで具体的な話をすればいいのか戸惑うこともある。

【改善計画】※後日記入

運営推進会議の運営方針に基づき地域活動を推進するための具体的な地域活動が行えるよう地域密着に求められる機能を深め、柔軟性のある事業であることを理解して頂く中で地域貢献できるよう活動の推進力を高めていきます。

F. 事業所の防災・災害対策

	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	6		
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	4		2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	5		1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5		1

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】 特に口頭での意見は無かったが、地域との防災等に関しての交流は積極的な活動が行えていたかどうかの評価は「良く分からない」との意見がアンケートの中では気になった。</p>
<p>【前回の改善計画】 地域ケア会議や運営推進会議などの場面を通してハザードマップ上の利用者に対しての動きなどの整理や問題点などを協議した経緯はある。</p>
<p>【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】 ハザードマップ上ではエリアの一部地域はリスクの高い地域になっていることもあり、サテライト宮丘がどのような役割を担っていくのかを深めていく必要がある。AEDマップの作成や2次避難場所としての動きの確認、地域で災害時にどのような協力できるのかをを少し教えてほしいとの意見が見られた。</p>
<p>【改善計画】※後日記入 地域ケア会議などに参加し、地域の非常災害時に期待される役割を整理し、地域と共同した取り組みを模索し、地域貢献を図っていく。</p>

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 神戸福生会	代表者	大和田理沙	法人・ 事業所 の特徴
事業所名	サテライト宮丘 小規模多機能サービス	管理者	大和田 順	
<p>高取山の麓にある桜並木の幹線通り沿いに位置し、事業所屋上からは長田の町並みから海までを見渡すことができます。元々高齢化率が高く、坂道の多い地域であった事もあり、『地域のご高齢者を支えていく拠点』を目指し、平成20年に併設の地域密着型特養と共に事業を開始しました。現在では民生委員の方々との連携も深まり、季節行事への参加や町内のボランティアの方の受け入れ等、地域交流も盛んになってきています。職員は『笑顔で心のこもった関わりを大切にする』という理念のもと、来所時には個別の機能訓練や趣味・特技を活かした支援を提供しています。その他、ご家族との情報交換を密に行い、利用時間の延長や急な宿泊、訪問等も柔軟に対応しています。</p>				

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	3人	1人	0人	1人	人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	今年度は具体的な活動が目に見えるように自己評価の方法を検討していきます。行動目標を具体的な数値に置き換えながら計画を遂行できるよう、できたこと・出来なかったこと・なぜできなかったか・数値を達成したことによって何が変わり、どのような課題が出てきたかをわかりやすく表現できるよう改善していきます。	事業所からの報告事項としてコミュニケーション不足で計画の周知、情報収集がうまく機能しなかったことが確認でき、それに伴いスタッフが個々に取るべき行動が不明確になってしまい、不平不満になって表出した事案も見られたと事業所からの報告を行っています。自己評価に対しては前向きな取組は確認できたとの評価がありました。	全体会議が行えなかった事実に関しては残念な所はあったが、時間がとりにくい状況の中でスタッフ交流の場面は作っている様子は確認できた。会議録の残し方は一工夫必要に思うとの意見が見られました。	「結果だけを示すのではなく、目標を明確にし、継続した活動が生む効果をしっかり確認しながら情報共有する」事とし、具体的な数値に置き換えながら計画を遂行できるよう、できたこと・出来なかったこと・なぜできなかったか・数値を達成したことによって何が変わり、どのような課題が出てきたかをわかりやすく表現できるよう改善を行い、職場の環境改善を図っていきます。

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>気持ち良い挨拶を 実践し、様々な 方々との交流をも ちながら地域で親 しまれる多機能サ ービス作りを行っ ていきます。</p>	<p>評価に関しては「よく わからない」へのチェ ックもあり、目標の到 達度としては疑問が 残る結果としてとら える必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・光も良く入り明るい雰囲気である。居心地はよ さそうな印象があったとの意見も見られました。 ・現場内の見学の際にスタッフのあいさつの声が 小さく、こちらからの質問にははきはきと答える 場面があった。初めて来たときには少し話しづら い感じを受けてしまうかもという意見がありまし た。 	<p>意識して気持ち良い挨拶を行い、様々な方々との有 意義な交流を持ちながら地域で親しまれる多機能サ ービス作りを図ってまいります。</p>
<p>C. 事業所と地域の かかわり</p>	<p>「宮丘だより」の 毎月交付を実施 し、スタッフとの 協議を行いなが ら、地域の皆様 にも協力いただ いたり、地域の イベントなどに 利用者と共に 参加、地域で 共に支え合える 環境作りを目指 して運営をして いきます。</p>	<p>地域のイベントには 出来る限り参加の 案内をだしてい ましたがなかなか 時間もとりにく く大変なかで色 々のご参加いた だきました。し かしながら、ス タッフのイベン ト参加は居会 のみになってし まい地域との関 わりは強化して いくまでには 至っていません。 宮丘だよりの交 付が定期的に行 えない状況で広 報がうまくでき ていないことも あり、不定期で も発刊できるよ う調整してい きたいと思っ ている旨を伝 えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能のメリットについてのイメージが付きに くいのではとの意見ありました。 ・現場内の見学の際にスタッフのあいさつの声が 小さく、こちらからの質問にははきはきと答える 場面があった。初めて来たときには少し話しづら い感じを受けてしまうかもという意見がありまし た。 ・「宮丘カフェ」「健康体操」が開催されるよう になり、又自治会の会議などでも活用させていただ く機会が増えました。地域の中で入りづらいところ であったような印象から地域の方々も集ってい ただける機会を作って頂いたことから施設の運 営事業を話す機会も増えたように思っています。 また、地域の行事などに参加しながら情報提供・ 情報交換をしていく動きを定着させていく動きも 考えてほしいとの意見や自治会に入っていること に対しての評価を頂きました。 	<p>「宮丘だより」の交付を年4回以上は行い、地域との 繋がりを意識した紙面づくりを再構築していきたい と思います。事業所のサービスの柔軟性を生かし、地 域のイベントなどに利用者と共に参加、地域で共に支 え合える環境作りを目指していきます。</p>
<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを ささえる取組み</p>	<p>相談・問い合わせ があった場合には 、「顔を合わせる」 を基本とし、関 わりを持ってい きます。また、見 学やボランティア 活動も柔軟に受 け入れながら、 地域活動を進め ていきます。</p>	<p>訪問サービスを増 やしながら地域 の資源活用を行 う登録者は増 えています。買 い物等が困難な 登録者や買い 物に行ったり、 活用していた 散髪屋に不定 期ですが通っ たりする機会 も作っています 。スタッフに対 する「地域で暮 らす」を実現 していくため の研修を行う 予定を立てて いましたが、そ</p>	<p>ご近所で住んでおられるご利用者の日常生活と 家族の様子などをお話いただき、「喜んでおら れた」というコメントをお聞きしました。 地域向けの見学会などの開催もあればいいのでは との提案を頂いています。 通い参加所等がどのような食事をされているのか に興味があるとの意見があり、その場面作りを 検討したいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談・問い合わせがあった場合には、「顔を合わせる」 を基本とし、関わりを持っていきます。 ・見学やボランティア活動も柔軟に受け入れなが ら、地域活動を進めていきます。 ・住民様向けにサテライト宮丘の機能を伝えるため の活動を進めていきます。 ・サテライト宮丘での食事を体験して頂ける機会を 作ります。

		の機会を作り、活性化させていく事に対しては十分な成果は残せていない状況です。		
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の運営方針を明確にし、当事業所が地域でどのような活動が求められているのかを再確認し、活動の推進力を高めています。	地域のボランティアグループによる「宮丘カフェ」の開催、「健康体操」の開催、自治会活動に対する会場提供などを行いながら地域の方々が集う空間づくりは進んでいる。AEDの体験学習会に参加し、地域の方々と一緒にAEDの使用方法について研修を受けました。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交流やイベントの紹介なども積極的に行っていた。 ・活動の様子も確認良く分かり、大変だと思うとの意見があった。 ・運営推進会議においては地域の高齢者の生活ニーズにも着目した動きが必要であると思われるがどこまで具体的な話をすればいいのか戸惑うこともある。 	運営推進会議の運営方針に基づき地域活動を推進するための具体的な地域活動が行えるよう地域密着に求められる機能を深め、柔軟性のある事業であることを理解して頂く中で地域貢献できるよう活動の推進力を高めています
F. 事業所の防災・災害対策	地域と共同した取組みが今後行えるよう、防災コミュニティや地区での防災活動に関して積極的に参加する。	地域ケア会議や運営推進会議などの場面を通してハザードマップ上の利用者に対する動きなどの整理や問題点などを協議した経緯はある。	<ul style="list-style-type: none"> ・特に口頭での意見は無かったが、地域との防災等に関する交流は積極的な活動が行えていたかどうかの評価は「良く分からない」との意見がアンケートの中では気になった。 ・ハザードマップ上ではエリアの一部地域はリスクの高い地域になっていることもあり、サテライト宮丘がどのような役割を担っていくのかを深めていく必要がある。AEDマップの作成や2次避難場所としての動きの確認、地域で災害時にどのような協力できるのかを少し教えてほしいとの意見が見られた。 	地域ケア会議などに参加し、地域の非常災害時に期待される役割を整理し、地域と共同した取組みを模索し、地域貢献を図っていく。